

## ネブラスカ州：小麦作柄と気象状況

2005年5月24日

2005年5月22日現在：

5月22日に終わる1週間のネブラスカ州の気象は、平年より高目の気温で推移し、降雨の少ない乾燥気象であった。平均気温は全地区で平年を6~9度F上回り、最高気温はNW地区では91~95度F、SC地区では101度Fを記録した観測所も有った。NE地区では0.30~1.03インチの降雨があり、気温は多少他地区より低かったが平年以上で有った。1週間の州平均農作業稼働日数は5.5日(前週：3.2日)となった。Subsoilの土壌水分は前週より多少減少したが、TopsoilではSurplusが減少し全体としては“適”が1ポイント増えた。土壌水分は昨年並びに5年平均より極めて良好であり、穂孕み期~出穂期に適した状態である。今後の降雨と気温が単位収量の上下に大きく影響する。

冬小麦の95%が節間伸張期(Joint)に入り、23%が出穂した。出穂は前週の低温の為、昨年(63%)並びに5年平均(43%)より遅れている。作柄は前週より多少評価が落ちた。

5月1日付けUSDAの冬小麦生産量予想では、単位収量は45.0bushels/acrであり、作年実績の37.0bu/acrの約2割増の予想で有った。詳細は別表の通り。

2005年4月1日~5月22日の降水量：

	NW	NC	NE	CEN	EC	SW	SC	SE
This week	0.00	0.53	0.47	0.24	0.08	0.00	0.24	0.01
Total since 1/4/05	4.02	6.67	7.25	5.88	6.66	2.38	3.01	6.17
Normal since 1/4	3.89	4.41	5.20	4.97	5.59	4.22	4.74	5.64
Total as % of normal	102%	152%	139%	116%	119%	56%	62%	108%

土壌水分：2005年5月22日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Yr Ave.
Topsoil				
Very Short (%)	1	1	17	12
Short (%)	17	6	24	21
Adequate (%)	79	78	54	63
Surplus (%)	3	15	5	4
Subsoil				
Very Short (%)	10	10	41	23
Short (%)	24	20	28	31
Adequate (%)	65	66	30	45
Surplus (%)	1	4	1	1

小麦の生育状況：2005年5月22日現在

	This Week	Last Week	Last year	5-Yr Ave.
Jointed (%)	95	83	98	90
Headed (%)	23	4	63	43

小麦作柄状況：2005年5月22日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This Week (%)	3	7	40	44	6
Last week (%)	2	6	38	45	9

Source: Nebraska Agriculture Statistics Service, USDA

5月1日付けUSDA冬小麦生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre		Production 1,000 bushels		
	2004	2005	2004	2005	2003	2004	2005
NE	1,650	1,700	37.0	45.0	83,720	61,050	76,500
USA	34,462	35,069	43.5	45.4	1,716,721	1,499,434	1,590,862

当該作柄レポートに関するご質問等は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃：Email [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)